

令和8年度 第1回たかつコミュニティスクール 議事録

日 時

令和8年5月29日（金）9時30分～11時30分

場 所

神奈川県立高津支援学校 校長室

出 席

学校運営協議会委員7名 事務局12名

問合せ先

副校長 古川 玉緒 電話 044-865-4921（直通）

1 学校長あいさつ

- ・児童生徒数、修学旅行の様子等紹介

2 会長及び委員の紹介・委嘱状交付

- 委嘱状交付

2 委員自己紹介（●委員より ○事務局より）

- 茅ヶ崎市教育委員会教育委員

昨年度「行事スタンダード」を作成し、行事は「目的地」ではなく「ねらい」が大切であるということが確認され実践できている。

「進路」「防災」などさまざまなスタンダードに則って、教育活動をさらに充実させてほしいと考えている

- 川崎市立南原小学校 校長

南原小学校は全児童235名の小規模な学校。高津支援学校と一緒に何かできたらと考えている。

- 株式会社富士通ゼネラルハートウェア 取締役

コミスクははじめだが、積極的に頑張らせていただきたい。

- 高津第二地区社会福祉協議会 青少年福祉部会 部長

秋のあそび場など、一緒に参加していきたい。

- 社会福祉法人みのりの会 まじわる宮前 総合施設長

生活保護、短期入所、計画相談などの事業を行っている。生活介護は65名定員。高津支援学校の卒業生を多数受け入れている。コミスクに参加して、学校と福祉はシステムが変わることを説明できるようにしていきたい。

- PTA代表

子どもは中3で、体も心も成長し、現在反抗期。学校に助けてもらって成り立っている。保護者の立場で要望を伝えていきたい。

- 事務局自己紹介

3 学校評価部会（●委員より ○事務局より）

（１）令和８年度学校評価（目標設定）等について

- 校長より、グランドデザイン（資料２・３）・学校運営方針について（資料４）について説明
- ・来年度開校 50 周年にむけてプロジェクトを立ち上げた。50 周年に向けてご意見を伺いたい。
- ・グランドデザインについては、ご意見をいただいて修正をしていきたい。

○ 質問・回答（●委員より ○事務局より）

- 資料４の「分析から指導改善へ」にある「ことば」の主語は子供たちか、教職員か？
- 子供だけでなく、子どもを指導する教職員も含める。
- そのためには、「ことば」について教職員が正しい知識を持たなければならない。教職員がどんな言葉を使うかも大事。
- 「たかつ教育内容系統表」とはどんなものなのか？個別の児童生徒に合わせたて作成されるのか？ また、「ことば」には「おしゃべり」も含まれる？
- 系統表は「学習指導要領」の内容を高津支援学校の児童生徒の実態等に合わせて表にまとめたもの。「個別教育計画」を作成する際には、目標設定の客観的基準となり、その児童生徒の個別の系統表になると思う。
「ことば」は「おしゃべり」以外に、「読む」「聞く」「話す」を含む。「ことば」以外の表出ツールも考えられる。
- 「地域との協働」で言えば、高津区は「エコシティたかつ」という街づくり・地域防災についての取り組みを行っている。「100 年後どんな街にしていきたいか」について話している。例えば、地域の学校などで、津田山霊園で発見されたエビネランの栽培し、野生に戻すという取り組みを行っており、富士通ゼネラルも参加している。高津支援学校も参加してみてはどうか？
- 神奈川県で実施される花博の取り組みの一つとして実施することは可能。
- 富士通ゼネラルは「鶴見川流域ネットワーク」の岸先生の支援を受けて取り組んでいる。富士通ゼネラルに一声かけてくれれば実施できる。
- チャレンジしてみたいと思う。
- 川崎市では教職員のワークライフバランスを是生する取り組みを行っている。高津支援学校では、教職員の労働時間の改善についてどんな取り組みを行っているか？
- 声かけはしているが変わらないという実態。やることを減らし、子どもと向き合う時間を大事にしたいと思うのだが。日直の廃止、行事の精選等、「早く帰れる」「仕事を持ち帰らない」「土日働かない」ようにする方法を検討中。
- 教職員が作成する書類が多い。個別教育計画の作成手順の見直し等できるのでは。教職員がすべき業務ではないものが増えているのでは？

- 県として、やらなくていいものは、他に委ねるという動きはある。会計業務とか。業務精選の動きもあり、さらに進めていきたい。
- 生成ＡＩの利用はどこまで進んでいるのか？議事録の作成などはすでにＡＩができる。
- 整備してほしいものはある。予算の問題がある。
- ＡＩ利用でも、活用する人間の教育が大切。個別教育計画をＡＩで作成するなどはあるのではない。
- 学校でも「コパイロット」など使えるようになっている。また、朝ＰＣを立ち上げると勤務時間が通知されるようにもなっており、教職員が働き方を意識できるようにしている。
「すぐーる」の導入により、教育委員会から直接保護者に配信できるようになり、学校で印刷・配付するという業務を削減できるようになった。
- 「すぐーる」「スクールエンジン」と連動して、出席簿や指導要録が作成できるようになった。いずれは個別教育計画の作成につなげていく。
- 学校でいろいろなものが導入されている中で、卒業後の進路先でも同じだと思っている人が多いが、実際にはそうではない。そのあたりをわかってくれるとよいと覆う。
自分たちの施設には高津支援学校の卒業生がたくさんいる。実習生がくるとよく面倒を見るなど、学校に対する思いが強い。50周年を一緒にお祝いできることがあればいい。
- 「高津支援学校は、今年はこうする」という話が聞けて良かった。
- 前任校でも地域参画は行ってきた。地域のスキルを活用していくことがこれからの学校には必要。さらに広げていきたい。
先日、スーパー「LIFE」から店舗のスペース活用して展示等しないかという声かけがあり、宮崎台店と相談しながら、何をするかを決めていく。
卒業生が同窓会を楽しみにしている。50周年について同窓会の場で声かけをする予定。卒業生の愛校心が嬉しい。

(2) 令和8年度校務グループの取り組みについて 統括教諭より報告

○ 教育推進グループ

- ・ 学びの連続性を考慮して、たかつ教育内容系統表を見直しつつ、教育課程を整えていく。
- ・ 50周年を、「高津の価値づけ」＝良さの再確認をしていく機会にしたい。

○ 学習支援グループ

- ・ この4月からコアラバスが増えた。「すぐー」の活用やGPSの導入で。スクールバスのスムーズな運行を心掛けたい。
- ・ 学習環境のユニバーサルデザイン化や眠っている教材の活用を進めたい。また、「人材バンク」「T!知恵袋」など、教職員の力を生かしていきたい。
- ・ 食育を進める。

○ 支援連携グループ

- ・ 進路スタンダードの活用を進める。教職員に日常指導がキャリア教育であると伝えていきたい。
- ・ 進路に関する保護者向け情報提供を進める。
- ・ 地域の中の高津支援学校を発信していきたい。

○ 学校管理グループ

- ・ 防災スタンダードの作成を進める。
- ・ 電子黒板の活用を進め、授業改善を行うために研修会を実施する。
- ・ 業務アシスタントと連携し、教職員の会計業務の負担を軽減する。

○ 小学部

- ・ 教育課程の整理を進める。授業の年間指導計画をまとめて、同じ単元でも学年によってねらいや内容を変えるなど見直しをしていきたい。
- ・ 小学部・中学部・高等部12年間の系統的な教育課程につなげていきたい。

○ 中学部

- ・ 今年度は新しい。若い教職員が多い。口をそろえて「縦のつながりをしっかりしていく」＝学年を超えて誰でも指導できるような関係性を作っていくと言っている。
- ・ 教育課程の整理を自主的に進めていく。

○ 高等部

- ・ たかつ教育内容系統表を実践的に活用していく。
- ・ 小中学部で培ってきた力を社会で使えるものに還元していく。
- ・ 楽しい学校生活を送れるようにもしていきたい。

○ 生田東分教室

- ・ 生徒の安全安心の意識を高めていきたい。そのために必要な支援を行っていく。
- ・ 「闇バイト」「SNS使用の課題」「男女間の問題」などをSSEで学習させる。
- ・ JA黒川など外部との連携を強化していきたい。

○ 川崎北分教室

- ・ オフィス改善に合わせ、学習環境の改善を行う。
- ・ 業務改善、教育課程の見直しなど、来年度に向けてスクラップ&ビルドしていく。
- ・ 月1回学部集会を長めの時間で実施し、様々な係担当の教職員から話をしてもらう。

4 協議・学校運営の承認（●委員より ○事務局より）

- 学校運営の説明について何か意見はあるか？
- 社協としては、秋のあそび場、中学部との交流会、昨年度からはじめての昼のあそび場で今年も高津支援学校の活動に参加していきたい。
- 学校運営について承認してよいか？
- 承認

5 学校長あいさつ

- ・ たくさんのご意見をいただき、励みになる。運営方針の実現に向けて頑張っていく。ご支援をいただきたい。

6 事務連絡

- ・ 次回は、8月27日。部会に分かれて実施。場所は本校食堂を予定。